

2007 年度

科目名  文章表現	対象学科・学年 文学部日文1回生	担当者  高橋 圭一
授業テーマ 「正確な文章」を書く。		
授業の概要と目標 文章を手書きすることこそ少なくなってきましたが、パソコンや携帯電話のメールの普及などもあって、文章によるコミュニケーション能力はますます重要性を増しています。この講義では現代社会で必要とされる、「正確な文章」を書く能力を養成することを目的とします。「正確な文章」とは、ここでは読み手に誤解されることがなく、理解の容易な文章のことです。そういう文章が書けるよう、一緒に練習しましょう。		
評価方法 出席、課題の提出状況、課題に取り組む姿勢、等を総合的に評価します。		
テキスト 講義中にプリントを配布します。	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 一回の講義は、大体以下の三部構成を取ります。 一、前回の課題に対する講評・・・前回の課題に対するレポートから、注意すべき点を指摘します。 二、実践練習・・・内容把握力・構成把握力等、正確な文章を書く基礎的能力を養成するために、練習問題を解いてゆきます。 三、課題作成・・・課題を示し、指定された字数で表現する能力を涵養します。 以下、主に二部の内容を紹介します。 1、導入 書くことを楽しもう。 2、原稿用紙の書き方。(紙は使わなくなっても、知っておいたほうがいいことはあります) 3、文章の要旨を短くまとめる。(コツがあります) 4、 続き。 5、文章の役割を理解する。問題を提起する文、解答する文など。 6、 続き。 7、文脈を捉える。 8、文章に必要な要素(5W1H)を確認する。 9、 続き。 10、分りやすく誤解のない文章を書く。 11、 続き。長すぎる文を短く区切る。 12、意見文を書く。まず、「事実」を観察し、報告する。 13、 続き。「事実」に対する自分の意見を書く。 14、 続き。意見の根拠を明確に示す。 15、 続き。自分と異なる意見に対して反論する。  「二、実践練習」は、日本語文章能力検定協会による日本語能力検定試験にそった内容のものを使用します。 また、添削指導はeラーニング・ツールを用いて行います。		